

第1回 沖縄におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた懇談会 議事概要

日 時：令和3年8月10日（火）14：00～16：00

開催方法：WEB開催（那覇第2地方合同庁舎2号館4階事業審査室）

【議事概要】

（議事2－1：懇談会の設置趣旨及びCNP形成の意義について）

事務局より懇談会の設置趣旨、検討内容及びCNP形成の背景・意義を説明。また、懇談会の進め方については今年度中に計3回開催し、沖縄におけるCNP形成に向けた方向性等をとりまとめることを説明。

＜構成員等＞

温室効果ガス削減の取り組みとして、船舶や荷役車両の新エネルギー化が必要であると思う。船舶についてはLNG燃料船等が求められるが、導入されているのはごく一部であり、燃料備蓄装置等の設備投資の長期的な計画が必要。荷役車両についてはEV車両の導入の取り組みが必要であるが、いずれも導入にあたっては国の支援が必要。

また、接岸する船舶への陸電施設については、更なる充実の取組が必要。港湾内の温室効果ガス削減という観点からすれば、港湾内の一般道路を通行する車両等の対策（車両のEV化）や港湾の近接地域の各企業の取組の動き等を考慮しながらの検討も必要。

＜事務局＞

ご指摘のとおり、長期的な対応が必要。皆さまの取り組みに合わせて港湾側でも対応できるよう、この懇談会等で議論していきたい。

（議事2－2：沖縄における取り組みについて）

沖縄県より第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画やクリーンエネルギー・イニシアティブの概要及び中城湾港長期構想での脱炭素、循環型社会への構築支援のための取り組みを紹介。

沖縄電力（株）より沖縄電力ゼロエミッションへの取り組みを紹介。

（議事2－3：CNP形成に向けた現況の整理について）

事務局よりCNP形成に向けた現況の整理として、国内の先行地域での検討状況や海外の取り組みや状況、沖縄の港湾におけるエネルギーの流動等について説明。

(議事3：意見交換)

<構成員等>

2050 年における CO2 排出量ゼロを目指すことには賛成。課題としては、次世代車両の価格低下や、燃料・電気価格の軽減、燃料充填、充電スタンドの設置の増加などがある。車両導入や充電スタンド導入への補助・助成の拡充や税制優遇を図って頂きたい。

陸電設備の整備について、離島フェリーターミナルの設備更新、クルーズ岸壁における整備についても必要な規模やコストを勘案しながら検討していきたい。貨物岸壁においてもニーズを踏まえ検討する。荷役機械やリーファーコンテナ、輸送車両に係る施設整備等についても同様に検討していきたい。

<事務局>

第2回・第3回懇談会にあたり予算案や補助メニュー、新たな税制措置等が決まっていれば、関係行政機関より紹介していきたい。